

令和2年4月～令和3年12月の電話診療・オンライン診療の 実績の検証の結果

検証のまとめ

オンライン診療の傾向

- ・ 時限的・特例的に電話・情報通信機器を用いた診療を実施している医療機関からその実施状況等について、都道府県を通じて報告を頂き、定期的に検証を行ってきた。
- ・ 今回、令和2年4月から令和3年12月までの実施状況の傾向を評価した。
- ・ 電話や情報通信機器を用いた診療の普及について、
 - 電話や情報通信機器を用いた診療が実施可能として登録した医療機関数は17,405（令和3年12月時点）。
 - オンライン診療研修修了者数は32,158人（令和3年12月時点）。
- ・ 下記のオンライン診療の実態については、検証期間を通じて、その傾向に大きな変化は見られなかった。
 - 初診から麻薬・向精神薬の処方等が一定程度行われていた。
 - オンライン診療の初診に適さない症状※のうち、便秘、血便といった排便障害等の症状が診察されていた。
 - オンライン診療の初診での投与について十分な検討が必要な薬剤※のうち、レボフロキサシン・痛風治療薬が処方されていた。



今後の検証方針

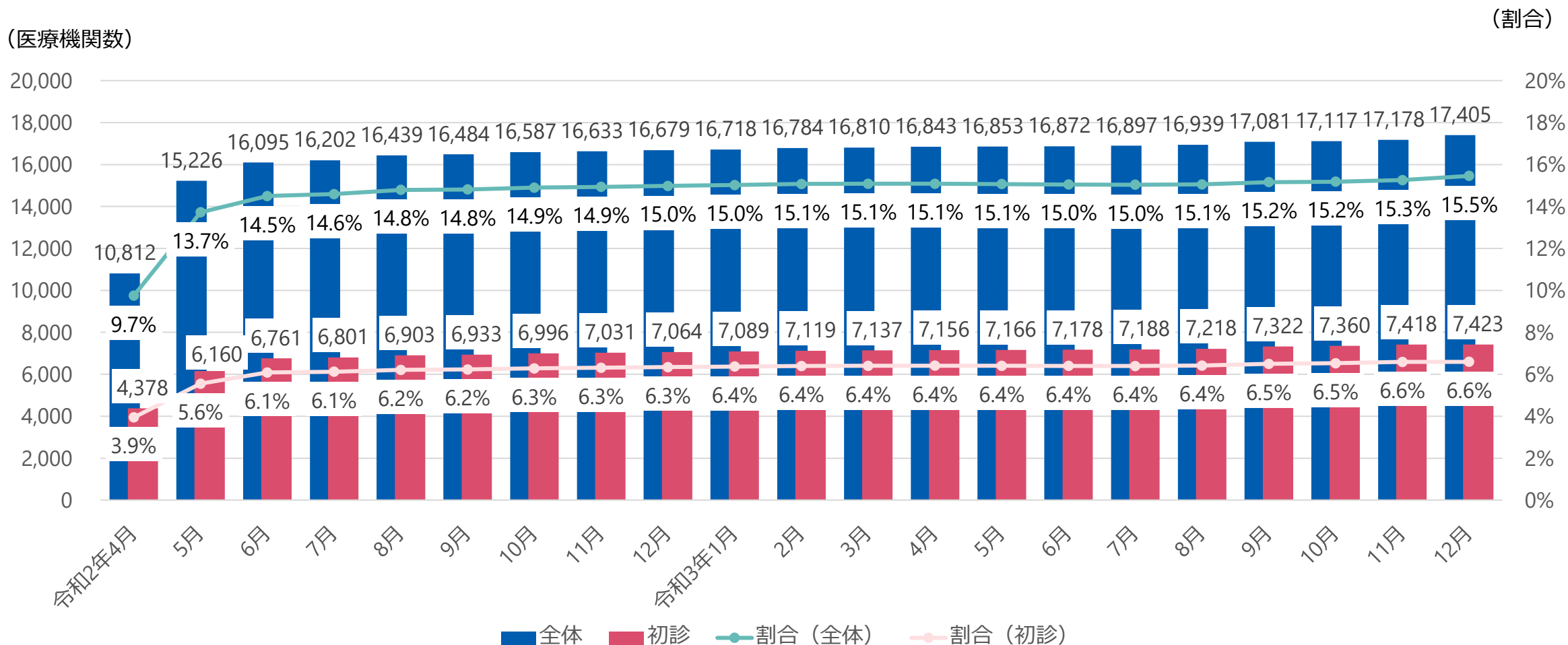
- ・ 引き続き検証が必要な項目については調査を継続する一方、傾向や実態が把握できたこと等から、検証の継続が不要と考えられる項目については調査を終了する。
- ・ 初診からの電話や情報通信機器を用いた診療において、処方をしてはならない麻薬・向精神薬、特に安全管理が必要な医薬品等については調査を継続する。

1. 医療機関の対応状況等について



時限的・特例的な取扱いに対応する医療機関の数

電話や情報通信機器を用いた診療を実施できるとして登録した医療機関数及び初診から実施できるとして登録した医療機関数の推移（令和2年4月～令和3年12月）



※各月末時点の都道府県報告の集計による。

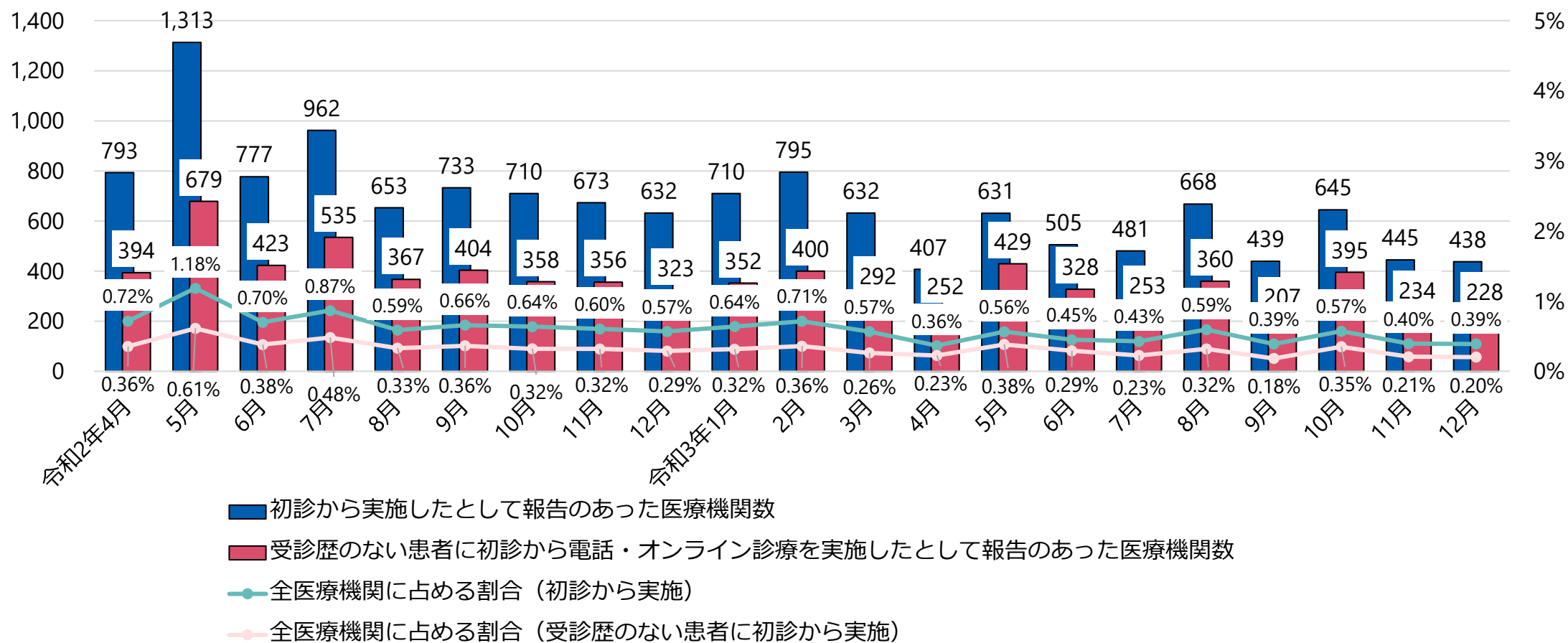
※それぞれの割合の分母は、医療施設動態調査（各月末概数）における病院及び一般診療所の合計

時限的・特例的な取扱いに対応する医療機関の数

初診から実施したとして報告のあった医療機関数及び受診歴のない患者に初診から実施したとして報告のあった医療機関数の推移（令和2年4月～令和3年12月）

(医療機関数)

(割合)



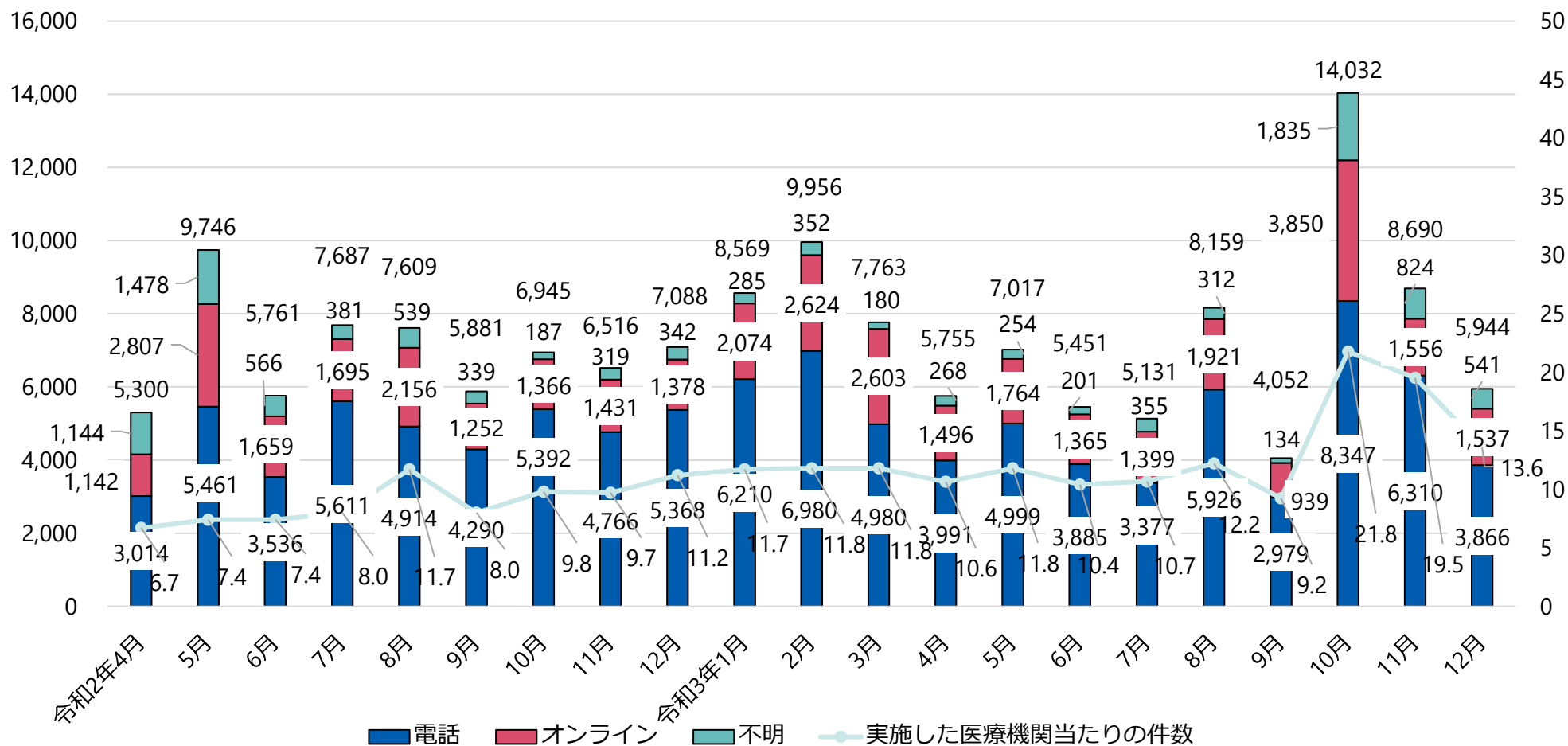
※それぞれの割合の分母は、医療施設動態調査（各月末概数）における病院及び一般診療所の合計

時限的・特例的な取扱いに対応する医療機関の数

初診からの電話及びオンライン診療の件数の推移及び実施した医療機関当たりの実施件数（令和2年4月～令和3年12月）

(件数)

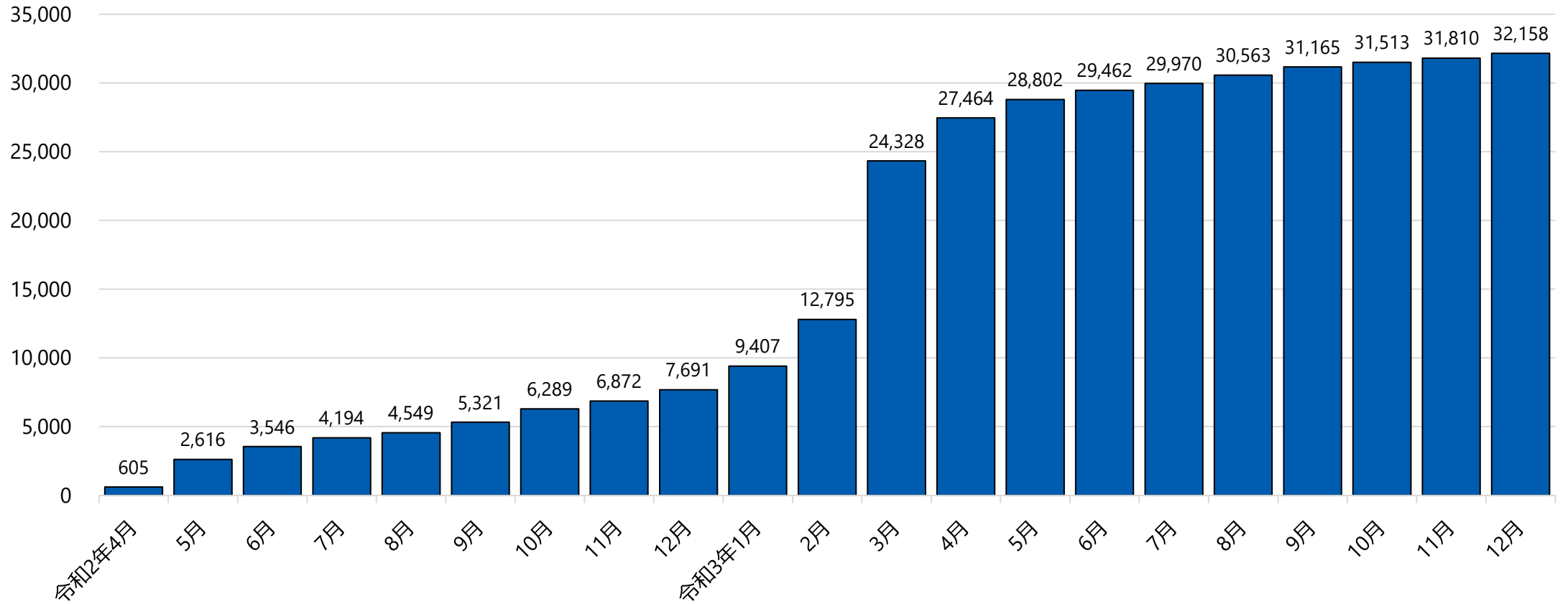
(医療機関あたりの件数)



研修の受講状況について

オンライン診療研修の修了者数（令和2年4月～令和3年12月）

(人)

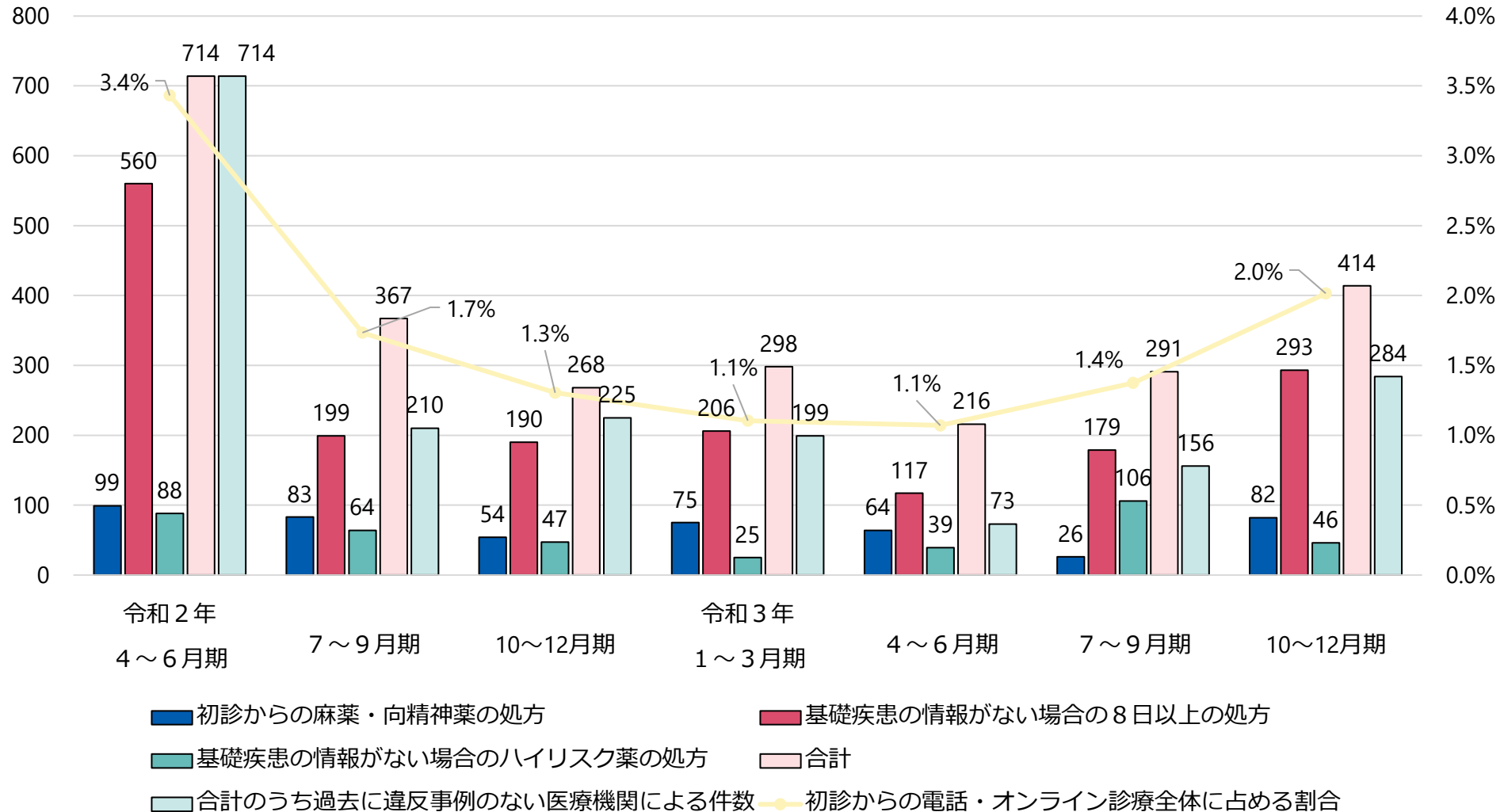


2. 特例措置における要件について



特例措置における要件について

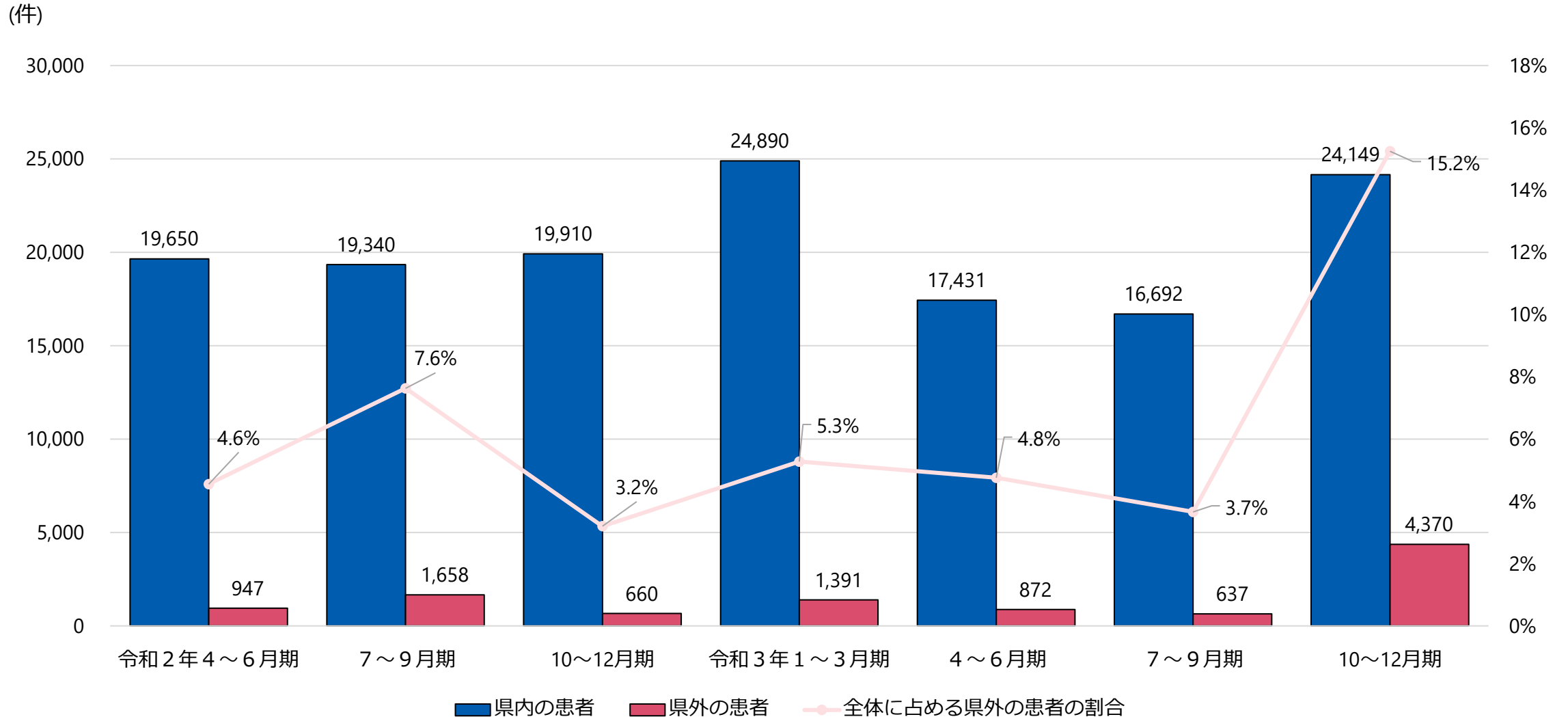
特例措置の要件を守らない処方件数の推移（令和2年4月～令和3年12月）



※令和3年3月までは麻薬の集計に低用量のリン酸コデインを含む

特例措置における要件について

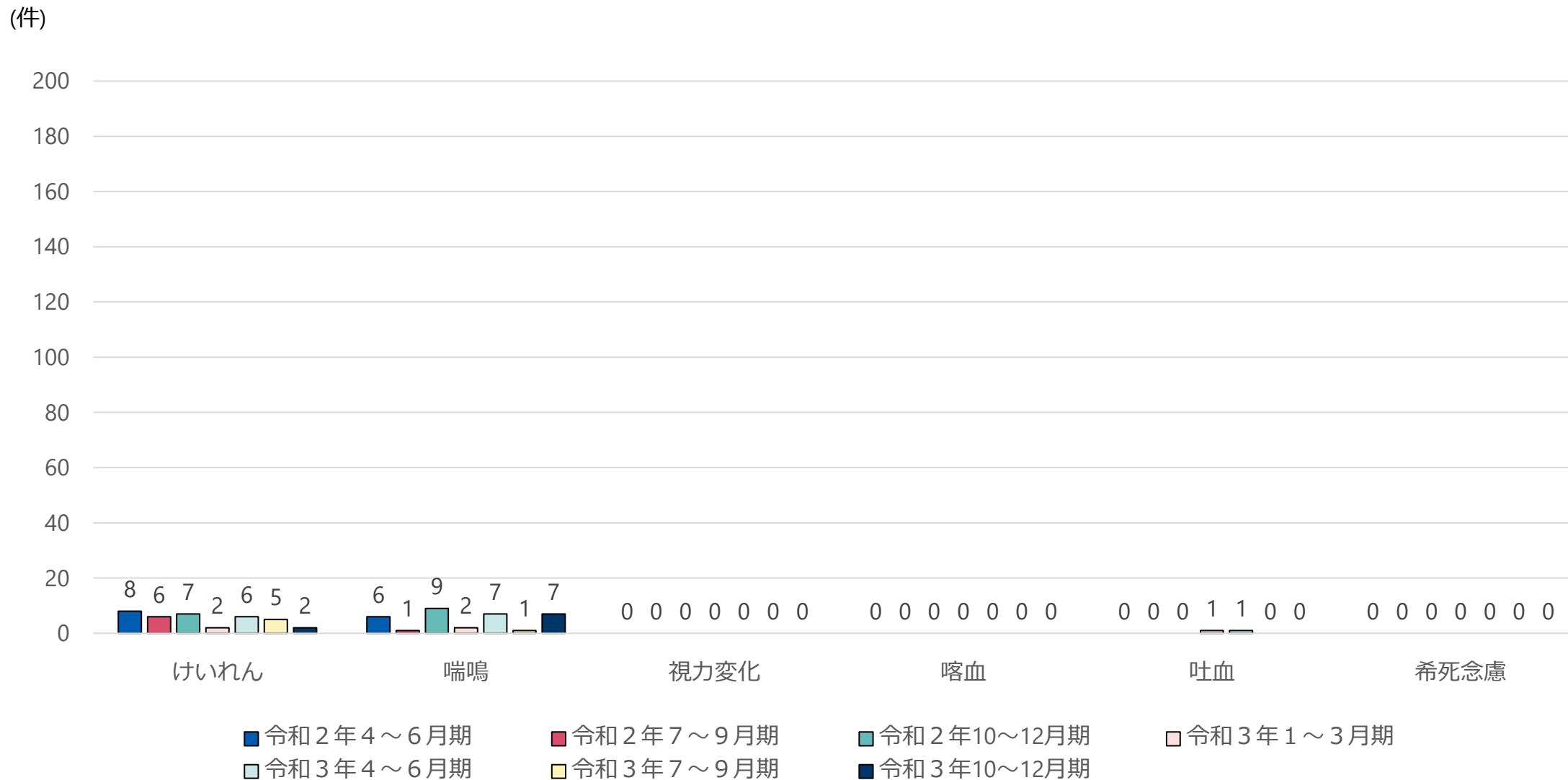
県外の患者への初診電話・オンライン診療の件数（令和2年4月～令和3年12月）



3. オンライン診療の初診に適さない症状及びオンライン診療の初診での投与について十分な検討が必要な薬剤について

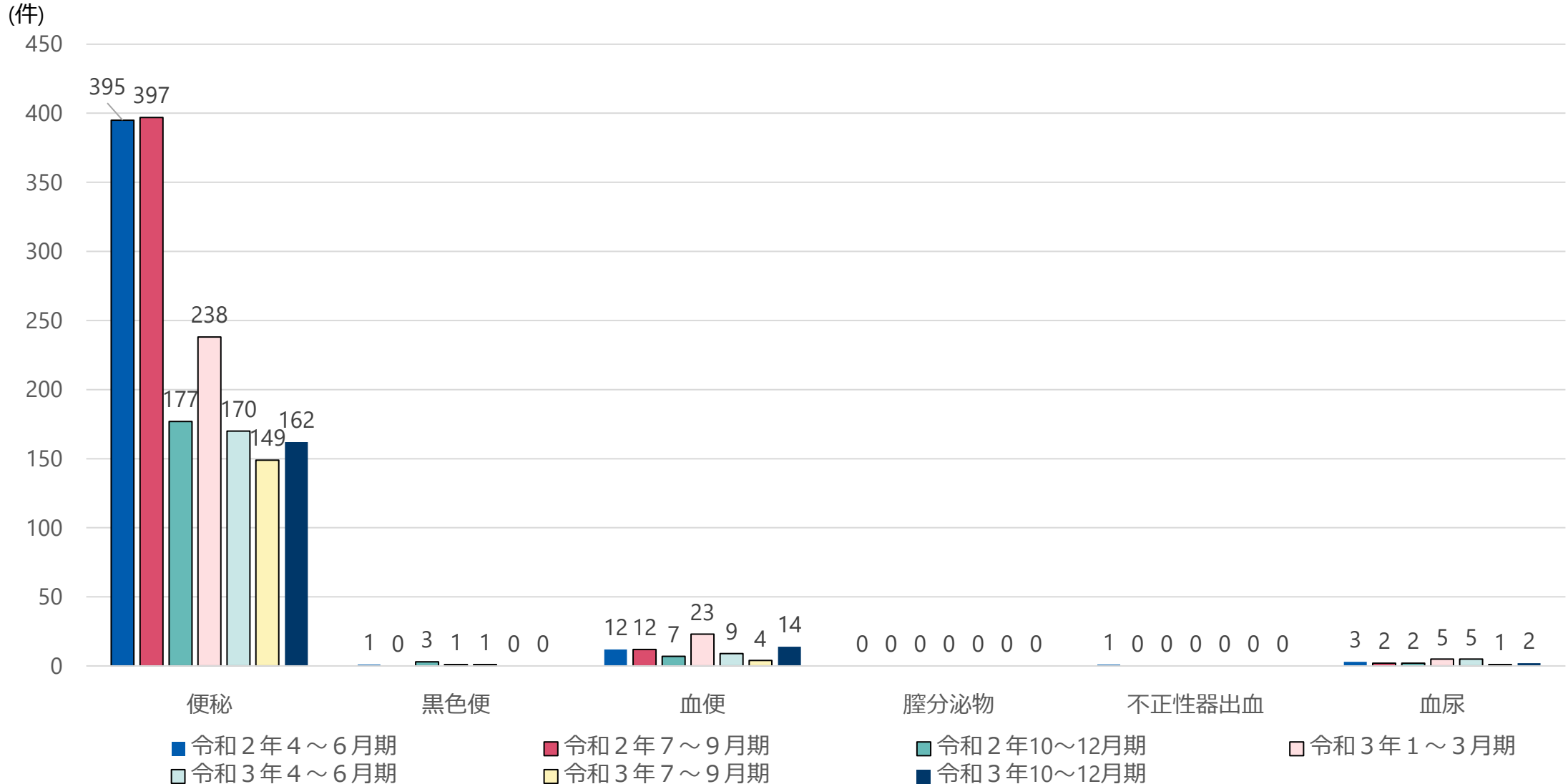
オンライン診療の初診に適さない症状について

オンライン診療の初診に適さない症状（令和2年4月～令和3年12月）



オンライン診療の初診に適さない症状について

オンライン診療の初診に適さない症状（令和2年4月～令和3年12月）



オンライン診療の初診での投与について十分な検討が必要な薬剤について

オンライン診療の初診での投与について十分な検討が必要な薬剤（令和2年4月～令和3年12月）

